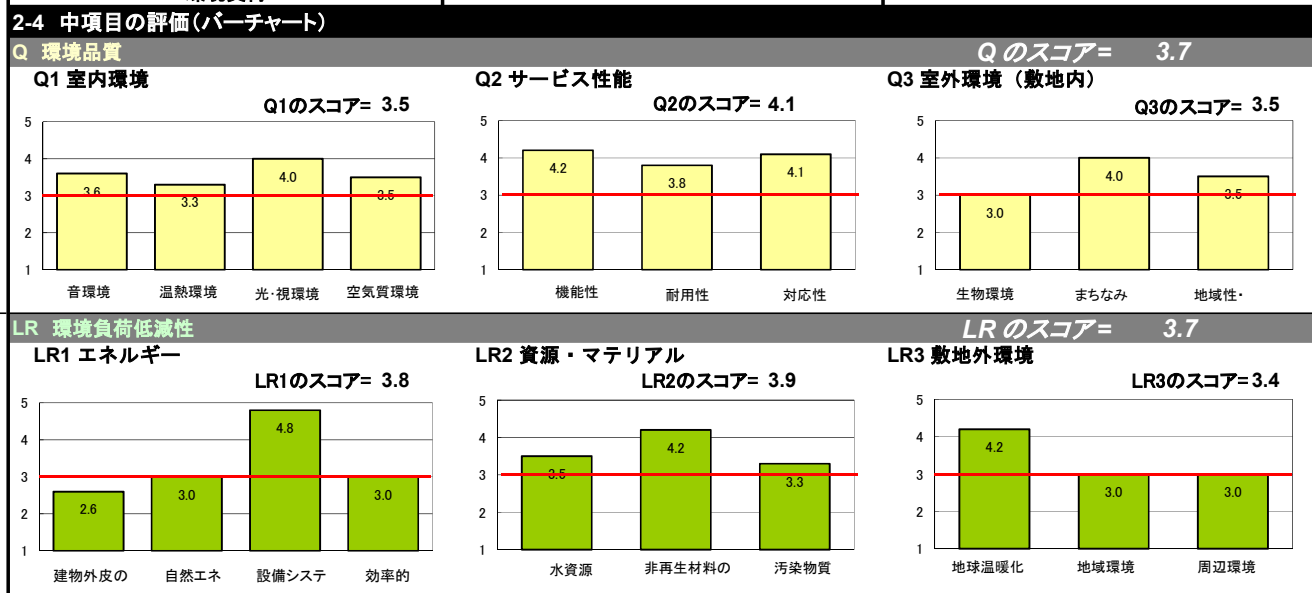
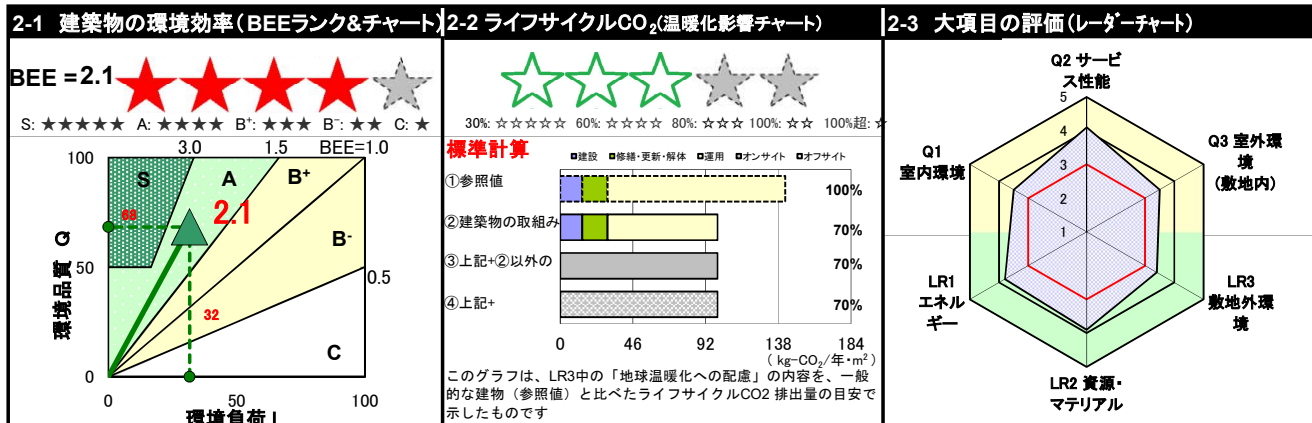


CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	福岡Kスクエア	階数	地上14F
建設地	福岡市博多区中洲中島町2,3,4,5,6,7番	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	825 人
地域区分	7地域	年間使用時間	2,600 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年6月 竣工	評価の実施日	2023年5月26日
敷地面積	2,068 m ²	作成者	松本 隆
建築面積	1,401 m ²	確認日	2023年5月26日
延床面積	16,128 m ²	確認者	大森 正俊



3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
福岡市博多区に建設されるオフィステナントビルの計画である。敷地境界から建物をセットバック、生まれた空地には緑化を行った。外装はLow-e複層ガラスの採用や、庇で日射量の低減を行った。建物利用者の快適性に配慮しつつ、省エネ、省資源に配慮した計画としている。	特になし	
Q1 室内環境 音環境、熱環境、光環境、空気質環境それぞれに配慮し利用者の快適性向上を図っている。	Q2 サービス性能 リフレッシュスペースを適切に設け、機能性に配慮している。	Q3 室外環境 (敷地内) 周辺環境に配慮し、植栽を積極的に設けている。
LR1 エネルギー Low-eガラスを採用して熱負荷低減に配慮した。また、LEDなど高効率な機器を採用し、エネルギーの削減を図った。	LR2 資源・マテリアル 節水器具の採用やリサイクル材の積極的な採用で資源の保護に配慮している。	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ の排出量削減に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される